

2014年4月から
個別学習指導教室開校を
ホームページに掲載開始

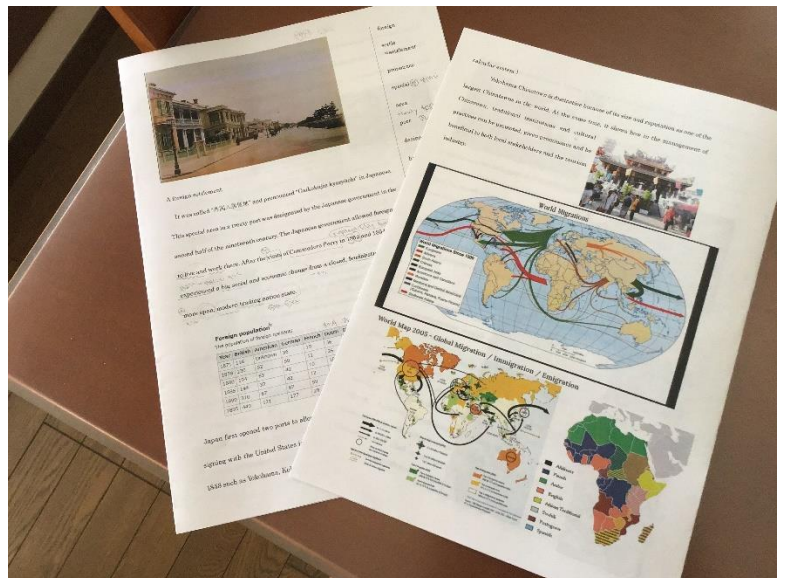


2014年10月

第一期生は小学4年生の男の子でした。次いで11月には小学6年生の女の子が加わり、中学に向けて英語の先取り、併せて知的好奇心の支えとなる理社内容の導入を、そしてその学習バランスとタイミングをはかりつつ、ご希望を伺いながら大学を見据えた質の高い数国の力も伸ばしていくという、多科目の総合的なサポートのスタイルで当教室はスタートを切りました。

第一期生の生徒さんは中学受験をせず、しかし長い目で見て大学受験に向け、英語を中心に高等数学や高いレベルの理社、中学受験をする生徒さんにも負けない盤石な読解力・記述力を目標とした国語についても、5科目全般を意欲的に学んでいきたいというご希望でした。

オーダーメイドかつレベルの高い授業内容で中学進学までの期間を通じて週3回お通い頂き、生徒さん自身の利発さ、理解力の高さもあり、私自身常楽しく、ぐんぐんと他方面の能力を引き出していくことができた約2年半だったように思います。



オリジナル教材の一例：

ときに高校内容、あるいはそれ以上の事項も紹介しながら、理科・社会を全分野で教えていきましたが、その都度主だった用語の英訳を添えたり、時事問題を絡めての問題提起をしたりと、個々の工夫をちりばめながら大局的にそれを積み上げる、というスタイルでした。“大学以降を見据えて”というご家庭のご希望を念頭に入れつつ、私自身としてもぜひそ

うしたい、と感じるバランス感覚で毎回の授業を総合的に組み立てていきました。国語では古文・漢文にも触れ、6年生の最後にはかなり高度なテキストの読み込みもできるようになりました。

英語学習について、ある程度の文法内容とスペリング、発音のポイントを教えたのちは理社内容をリンクさせた題材を選択し、内容自体が面白く、その子にとって新しい、刺激のあるものを読み解いていくというスタイルと常に心がけています。そのような組み立てを通じ、中学に進学する頃には第一期生の生徒さんは以下のようなテキストを使用できるようになりました。

NEWSWEEK 記事より
2017 June 19 prime minister May statement in London

メイ首相のスピーチ 礼拝を終え、モスクから出てきたイスラム教徒たちに
反イスラム主義者の運転する車両が突っ込んだという、ロンドンでの事件を受けて

This morning, our country woke to news of another terrorist attack on the streets of our capital city: the second this month and every bit as sickening as those which have come before.

It was an attack that once again targeted the ordinary and the innocent going about their daily lives – this time British Muslims as they left a mosque having broken their fast and prayed together at this sacred time of year.

Today we come together - as we have done before – to condemn this act and to state once again that hatred and evil of this kind will never succeed.

The government's Emergency Committee, COBRA, has just met and I can set out what we know about what happened, and the steps that we are taking to respond.

Just after twenty-past midnight, the Metropolitan Police received reports that a van had been driven into a crowd of people on Seven Sisters Road in Finsbury Park. Officers were in the immediate vicinity as the attack unfolded and responded within one minute. Police declared it a terrorist incident within 8 minutes.

One man was pronounced dead at the scene; 8 injured were taken to 3 separate hospitals; while 2 were treated at the scene for more minor injuries.

The driver of the van - a white man aged 48 - was bravely detained by members of the public at the scene and then arrested by police. The early assessment by the police is that the attacker acted alone.

Our thoughts and prayers this morning are with the family and friends of the man who died and those who were injured. On behalf of the people of London – and the whole country – I want to thank the police and the emergency services once again for responding as they always do with great professionalism and courage.

Extra police resources have already been deployed to reassure communities, and the police will continue to assess the security needs of Mosques and provide any additional resources needed, especially during this final week before Eid Al-Fitr, a particularly important time for the whole Muslim community.

小学校の卒業にあたっては、美文家、そして類まれな思想家として知られるバートランド・ラッセルの『幸福論』より、私が学生時代に最も魅力を感じた章を訳して冊子にまとめました。

この生徒さんは現在、国立大付属高校へ進学されています。

◆sickening <形>むかむかする、吐き気を催させる、うんざりする
There was a sickening crunch from my neck. (首がバキッという嫌な音をたてた)
It is sickening that human beings have done this to two innocent young women.
(人類が無実の若い二人の女性にこれをしたことは吐き気を催させる)

◆fast <名>断食 (期間)
Gandhi drank some orange juice to break his three-week fast.
(ガンディーは3週間の断食を終わらせるために幾らかのオレンジジュースを飲んだ)

◆pray <動>祈る
Let us pray that peace may soon return to our troubled land. (平和が早くこの災難をこうむった国に戻ってくるように祈りましょう)
We pray for those who died – may they rest in peace. (私たちは亡くなった人たちに祈る-彼らが安らかに休めるようにと)

◆sacred <形>神聖な、宗教的な、崇拝されるべき
Hinduism combined sacred teachings of the Aryans with the beliefs of the local people Aryans interacted with over the centuries.
(ヒンドゥー教は、アーリア人の聖なる教えと、アーリア人が数世紀にわたって交流してきたその土地の人々の信仰とを結合したものである)
This place is sacred to both Jews and Muslims. (この場所はユダヤ教徒とイスラム教徒の両方にとって神聖である)

◆condemn <動>非難する、運命づける、有罪を宣告する
This led Westerners on to condemn the Japanese as weird.
(このことで西欧人は日本人を気味の悪い存在として非難するようになった)
Several European politicians condemned America's Rambo-style approach to Saddam Hussein.
(何人ものヨーロッパの政治家たちはサダム・フセインに対するアメリカの喧嘩で攻撃的な接近法を非難した)
He was condemned to be hanged. (彼は絞首刑を宣告された)

◆state <動>明確に述べる、言明する
State your name, age, and occupation. (氏名・年齢・職業を言いなさい)
That sign clearly states: no trespassing. (あの標識にははっきりと「立入禁止」とあります)

◆hatred <名>憎しみ、憎悪、嫌悪
Her voice was full of hatred and contempt. (彼女の声には憎しみと軽蔑があふれていた)
"Just a minute," she snapped, silencing him with a look of hatred.
(「ちょっと待って」と彼女はびしやりと言い、憎しみをこめた表情で彼を黙らせた)

以下は、当時の HP に掲載いたしました報告記事の引用です。

2016.03.06

～小学 5 年生で英検準 2 級合格～

2014 年 11 月、小学校 4 年生のときに当教室で英語学習を始めた生徒さん（以下 T 君。第一期生。合格時は小学校 5 年生）が、2016 年 3 月に英検準 2 級に合格されました。

公立小学校で週に約 1 回、標準的な英語の授業以外は英会話教室などに通われたことはなく、アルファベットと、ごくシンプルな例文のイメージからのスタートでした。

当教室では発音を大切に、その音の感覚と連動させて、スペリングの法則性を無理なく身につけていただくところから始め、小学生の生徒さんであっても感覚的な暗記ではなく、品詞を区別し、語順や動詞・形容詞・副詞の活用などもルールを意識して理解していただきます。そして基本的な例文を、英語と日本語の的確な訳文も併せて対照しながら、納得感をもって文法的な応用を広げていくという方法です。

このようなメソッドで、S 君は数カ月で中学内容をほぼ終了しました。

トピックに変化を持たせながら長いセンテンスの読み解きや、徐々に高度な内容を取り入れた英作文を毎授業に組み入れ、様々な文法事項を組み合わせてのリーディング・ライティングを共に無理なくレベルアップできるように意図した授業内容となっていたと思います。

文法については機械的に教え込むのではなく、大切な、軸となる基本的な感覚が身に付いたあとは、なぜそうなるのかをヒントをもとに考えていただき、自ら法則性を見つけるということも、小・中学生の生徒さんは思いのほか楽しんでくださることが多いようです。ただ、生徒さんには個性がありますので、お 1 人お 1 人と向き合い、得意分野、優れた点を活かして語学力を伸ばしたいと常々考えております。何よりも学習を楽しみ、納得感と自信をもって、無理なく英語に馴染んでいただくことが大切です。

ご本人が積極的にステップアップを楽しんでくれたということが何よりですが、T 君はこのようにして 1 年あまりの学習で英検準 2 級合格という結果を出してくださいました。

英検というと 1 次試験はマーク方式であり、2 次試験についてもごく初歩的な会話力しか必要とされないのが、検定試験としての意義を疑問視する向きもありますが、ライティング面も付加して盤石に出来るのであれば、その都度の受験レベルに合わせての単語力、文法理解を固めていくペース・メーカーとして、私は有益だと思います。

T 君のケースは英検を効果的に活用できた好例でした。今後も異言語世界に分け入る冒険を楽しむようなイメージで、英語力を伸ばしていくお手伝いが出来れば、と願っております。

担当講師より

これまでの経緯 2015 年 11 月 3 級 2 次試験合格
2016 年 1 月 準 2 級 1 次試験合格
2016 年 2 月 準 2 級 2 次試験合格

2016.03.14

～中学三年生が英検 3 級に合格～

2015 年の 11 月から当教室にお通いいただいている中学 3 年生の生徒さんが、2016 年 3 月に英検 3 級に合格しました。
(以下 O さん)

中学では 1 年生のころから部活動で大活躍されていたこともあり、こちらにいらしたタイミングでは英語についてかなり苦手意識を持っていらしたご様子だったのですが、授業をご一緒してみると、まずは中学初期段階できちんと教えらるべき内容が曖昧となったままであることが分かりました。これについては O さんがご多忙だったということもありますが、教える側の先生の説明が不十分、あるいは工夫が足りず、分かりにくいものだったという可能性もあるのではないかと思います。

英語の語順、動詞の動かし方、そして名詞については単数・複数、そして可算・不可算という観点、さらには日本語に存在しない冠詞 (a/an、the) と所有格 (my/your/its/their) を置いていく際のルール、他には形容詞・副詞の用法の違いなど、O さんが理解につまずいていたのは、乳幼児期に親しんでいなかった言語を一定年齢以上になって学習し始める際に、まず何よりも教える側がしっかりと伝え、理解していただかなければならない点でした。日本語と英語はどのようなところが違うのか、英語についてはどんなところをどのように気をつけて文章を組み立てていけばよいのか、そういった視点をつかみきれないまま、とにかくその都度の学校のテストのために頑張るしかないという状況ですと、納得感のないままに機械的にかなりの量の丸暗記をしていかねばならないことになるので、O さんにとってもそれは難しく、またストレスのある状況だったはずです。

1 対 1 ではなく、30 人、40 人と人数のいるクラスで教える学校の授業では、どうしても生徒さん 1 人 1 人の状況を把握し、必要なフォローをすることは困難かもしれません。しかし、これについてはまず上記の点を改善し、土台をつくって差し上げないことにはご本人がづらいだろう、ということを私は考えました。そこで、中学卒業までに英検 3 級をぜひ取得したい、ということが当初からのご希望でしたが、すぐに英検対策に入るのではなく先述のような根本部分の確認から始めることにしました。

また、スペリングやアルファベット表記された英単語を読みこなすという点にも不安があったようでしたので、上記のような事項について確認していくにあたり、< 疑問点を説明 → 納得、理解 → 応用 > という作業を学校で使用されている教材をフル活用しながら、ノートに例文を書き、それを共に読み上げる、という作業を積み上げていく中で、スペリングや発音の不安要素も改善できるように努めました。O さんも自分の中で理解の曖昧な点、不安要素を克服しよう、と集中して積極的に授業に取り組んでくださったので、最初はなかなか結果に結びつかなかったものの、毎授業のたびに状況を少しずつ、しかし確かに改善することが出来たように思います。

乳幼児期を過ぎたら、小学生であっても文法はしっかりと教えるべきだ、ということ、私は常々その必要を感じておりました、その際はその生徒さんの母語である言語と比較をして、出来れば専ら私がおの比較した結果や注意点を一方的に教え込むのではなく、ある程度の土台が出来てからは生徒さん自身にもその過程に参加していただき、納得感を伴う英語文法の理解をするサポートをしたい、ということを思います。それは自分で思考・分析した結果としての知識が、丸暗記のそれとは質が違う、生徒さんにとって本当の意味で生きた知識となるということを感じているためですが、英語学習の初期段階に立ち会えなかったとしても、O さんのケースのようにその不足を補い、曖昧で断片的なものの集まりとなっていた知識を総合し、解決していくお手伝いをするのは可能だということも同時に実感しております。

第2次試験に向けてのトレーニングも、Oさんにとって非常によいチャレンジとなりました。質問中に登場した一般名詞を適した代名詞に言いかえることに加え、質問者の使用した動詞の時制を聞き取り、その時制に合わせて自分が選んだ動詞を活用させていくという、Oさんがネックとしていた事項が自ずと必要となるためですが、こうした1つ1つのステップに、持ち前の明るさとスポーツで培った気持ちの強さでOさんは楽しみながら取り組んでくださったように思います。部活動や学校の行事、試験などの制約がありつつも、多忙な時期もコンスタントに週1度の授業にお通いいただき、努力の結果が実って、Oさんは目標としていた英検3級合格という結果を出してくださいました。現在は英語の他、ご希望に応じて他科目もサポートしていますが、今後も多忙ながらスポーツと学業を両立させて、Oさんが高校生活を充実したものにしていられることを願うと共に、そのサポートとなることが出来ればと考えております。

担当講師より

これまでの経緯 2016年1月 3級1次試験合格
 2016年2月 3級2次試験合格

2016.11.18

～小学6年生で英検2級合格！！～

2014年11月、小学校4年生のときに当教室で英語学習を始めた生徒さんが、2016年11月に英検2級に合格されました！

公立小学校で週に約1回、標準的な英語の授業以外は英会話教室などに通われたことはなく、アルファベットと、ごくシンプルな例文のイメージからのスタートでした。そこからたった2年、高校卒業程度の英語力が必要とされる大学入試程度の「英検2級」に合格でした。おめでとうございます♪

2016.12.09

～ 小学6年生 英検2級合格体験記 ～

小学校6年生で英検2級に合格したT・T君ご本人による合格体験記をご紹介します。

僕がI先生の英語のご指導を受け始めたのは、小学4年生の11月のことでした。実はその年の4月に通信教材で英語を始めていたのですが、文法がなかなか頭に入らず、単語を覚えることもあまりできませんでした。

そんな中、父が見つめてくれたのが先生の個別指導教室でした。初めて会った時の印象は、優しそうな先生だ、ということでした。最初の授業は「RとLの発音の違い・be動詞の基本」でした。発音の仕方や品詞の種類などの基本から教えてくださいました。先生は海外のアメリカンスクールに通われたほか、音声学を専門的に学ばれた経験がおありです。そのため、僕は正しい発音を学ぶことができました。

また、先生は授業の中で単語帳などを使うのではなく、英文を読む中で単語を覚えるということの方針とされています。そのような工夫により、最初はcolorやtableなどの単語を覚えるのに四苦八苦していたのが、今では単語がずっと頭の中に入ってくるようになりました。

他にも、文法のご指導に関しても先生は工夫をされています。「その日に習った文法を使った英文を5つ書いてくる」、「その次の週にその文の添削をしていただく」。これを繰り返すことで、僕の英文を書くことに対する抵抗感が少しずつ薄れ

ていきました。

そして週 1 回の先生の授業を受けながら、父の勧めにより英検を受験し始め、次のようなペースで合格していきました。

2015年 1月 5級合格

2015年 6月 4級合格

2015年10月 3級1次合格

2015年11月 3級2次合格

2016年 1月 準2級1次合格

2016年 2月 準2級2次合格

ここまではあまり特別な対策はせず、自分で過去問を解いて結果を見ていただいたり、リスニングや面接を練習したりするだけでも合格することが出来ていましたが、2016年6月の2級試験では1次試験で落ちてしまいました。

そして引き続きの挑戦を僕が希望していたので、授業でも対策をすることになり、11月の受験に向けて先生と一緒に単語を覚えることはもちろん、リスニングとライティングも練習しました。また、先生に面接官の役をしていただき、面接の模擬練習も行いました。

このようにご指導をいただき、2016年11月に英検2級に合格しました。これはI先生のご指導の賜物である、と僕は思っています。また、ライティングに関しては上に書いたようなご指導のおかげで、満点を取ることができました。

これからもI先生にお世話になりますが、自分でも英語の本を読むなどして英語に親しみ、もっと力を伸ばしていきたいです。

2016年11月

2018.06.28

小学2年生で英検5級合格♪

2017年5月、小学校1生の春に当教室に通い始めた生徒さんが2018年6月、小学校2年生で英検5級に合格されました！

リスニングは満点、ライティングで数問の失点のみという結果でした。初めての英検受験でしたが、落ち着いて実力を出し切って下さいました。

授業ではごく自然な日常表現を通じ、文法内容として既に過去形、現在完了形なども導入しています。英検はマーク式ですが英語圏の小学生が「国語」を学んでいく際のイメージで、当教室ではスペリングもスピーキング・リスニングと併せてしっかりと学びます。英検だけを目標とするのではなく、生き生きとしたバランスの良い言語能力を育てていくという方針です。

5級合格、おめでとうございます♪たった1年余りでのこの結果は、本当に立派です！これからも楽しく、そして深く、英語というもう1つの言語の世界に分け入っていきましょう♪

2018.11.29

生徒さんの英検合格報告

この秋の英検で

3名の生徒さんが、それぞれの目標に合格されました！

小学2年生 4級 (小学1年5月に入塾)

中学1年生 4級 (中学1年5月末に入塾)

中学3年生 準2級 (小学6年10月に入塾)

※ 4級 中学2年修了レベル

※ 準2級 高校の標準レベル